

講演会を開催しました（9月12日）



9月12日の授業参観のあと、中村友紀さん（NPO 法人どりいむスイッチ理事長）を講師に迎え、「子供の将来のために今できること」をテーマに講演会を開催し、約60名の保護者と先生が参加しました。

講師の中村さんは、ご自身でNPO法人を立ち上げられ、若者の就労支援や児童養護施設

等を出た方のためのアフターケア、不登校や引きこもりがちな子供を持つ親の会などに関わってこられました。この活動の中で中村さんが接してこられた若者たちに共通する悩みとして、「自信がない」「人間関係がうまく築けない」「自分のしたいことがわからない」などがあったそうです。これらの悩みの一つ一つの背景や問題点を、乳児期から青年期の発達段階を踏まえながらお話していただきました。

例えば、「自信がない」という若者は、「自分にはできない」といった感覚を強く持ち、将来への希望や意欲を失いがちなのだそうです。しかし、子供の時に、ほかの子と比べるのではなくその子の良い部分や頑張ったことを見つけて声をかけると、「自分にはできることがある」という感覚を持つことができ、自分を律する力や積極性・自発性が育ちます。また、「自分のしたいことがわからない」若者は、アイデンティティが形成されておらず、自分らしさが不明瞭になっているそうです。だから、子供の気持ちをまずは受け止め、自分を大切にしていよことを伝えることが重要で、子どもに声をかけるときには「そんな気にしなきゃいいでしょ！」ではなく、「〇〇と思ったんだね。」「どうしたらいいか一緒に考えてみようか」がいい、などの例を示してくださいました。

そして、子供が不安定になった時にはまず家族が安定した状態を作ること、そして、子供の問題と親の問題を分けること、が大切だと締めくくられました。

参加した保護者からは、「とても説得力があり、分かりやすいお話でした。」「日頃の声かけを反省しました。教えていただいたことを試してみます。」「いざという時に相談できる場所があることがわかってよかったです。」「子供の将来のために今できることを積み重ねたいと思います。」などの感想をいただきました。子どもを元気にするのは親の言葉なんだな、と改めて気づかされた講演会でした。

